

6月6日 AM4:00 夜明け前、13名が車に乗り合わせて松本を出発。AM5:00 沢渡で3名と合流し、総勢16名となる。AM6:00 準備を整え、上高地を出発。横尾までの林道を進む。天候は晴れ、まずまずの天気だ。新緑萌える道沿いには、ニリンソウ、サンカヨウ、ツバメオモト、薄紅のヤマザクラが咲く。AM11:15 林の中の槍沢ロッジで早めの昼食を摂る。ここから本格的な登山の開始だ。



朝早い上高地を出発



満開のニリンソウの林道を行く



ババ平下部の残雪を登る

赤沢岩小屋手前の沢に、鉄砲水による土砂崩落があり難儀する。ババ平上部から雪を踏む。雪に埋まる沢筋に頻発したデブリ跡の小山を登り降りし、PM1:30 ようやく大曲に到着する。ここから雪の急斜面にアイゼンを効かせて登り続け、PM3:30 グリーンバンドに登り出る。視界が広がり、前方に高く槍ヶ岳の岩峰が霧雲の中に颯爽と聳え立つ。疲労が濃くなった PM5:00 殺生ヒュッテにようやく到着。泊する。

翌7日 AM6:30 出発。快晴、無風。殺生ヒュッテ上部の東鎌尾根のアイスバーン状の雪斜面で滑落停止の練習を行い、ピッケルの使い方を訓練する。そして、そのまま雪と岩の東鎌尾根を登り続け、AM8:00 槍ヶ岳肩に到着。山荘の熱いお茶で一息入れて、槍ヶ岳穂先の100mの岩壁に挑戦。一步一步慎重に登る。



グリーンバンド下部、雪の急斜面登る。



7日朝、青空に聳える槍ヶ岳 3180m



アイスバーン状の東鎌尾根を行く。



槍の穂先の岩壁に挑戦する。



全員登頂「バンザイ！」



槍穂先を下山する

AM9:00、全員見事に登頂。皆笑顔で握手を交わす。「頂からは、360°の大展望。青い空に残雪の峰々が聳え連なり、いつまでも心に残る素晴らしい登頂だった！」AM10:00、お世話になった槍ヶ岳山荘に別れを告げ、下山する。雪の急斜面を、シリセードで一気に滑り降りてPM10:10 槍沢ロッジに到着。ラーメンで腹ごしらえをして、PM2:00 横尾、PM5:10 上高地へ無事下山する。PM5:45 沢渡。PM7:00 松本へ帰還、解散とした。



新緑の前穂高岳三〇九〇m



山桜咲く檜沢ロッヂ付近

六日午後四時頃、槍を目指し登る



七日、快晴の朝を迎える

北鎌尾根の北峰に針の木、白馬を望む



小槍の登攀

西方笠ヶ岳の彼方に加賀の白山を望む



南に乗鞍岳、木曾の御嶽山を眺望する